

## 一般社団法人地理情報システム学会 第8回理事会 議事録

平成22年1月8日午後13時、東京大学本郷キャンパス(東京都文京区本郷7-3-1)工学部1号館4階セミナー室Aにおいて、理事会を開催した。

13時5分に柴崎会長は議長席に着き、開会を宣言し、次の通り過半数を超える理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

総理事数 10名

出席理事数 8名(柴崎, 吉川\*, 今井, 太田, 小荒井, 碓井\*\*, 巖\*, 大沢)

出席監事数 2名(大佛, 長坂)

(但し, 出席理事名に\*が付されている理事はSkype参加, \*\*が付されている理事は電話参加)

### 第1号議案 論文投稿システム(J-STAGE)について

玉川理事(大沢事務局長代読)より、科学技術振興機構(JST)が行なっている学協会電子ジャーナルの管理・運用サポートシステムJ-STAGE利用について、配布資料1に基づき提案された。骨子は、(1)システム利用・運用サポートが無料であること、(2)書誌情報の入力が学会に求められること、(3)利用申請後1年間で運用を開始できること、である。意見交換の後、この提案を了承した。

### 第2号議案 編集委員会諸規程について

玉川理事(大沢事務局長代読)より、GIS-理論と応用の投稿規程、投稿原稿の審査に関する規程、投稿原稿作成要領、論文スタイルテンプレートが資料2として提示され、了承が求められた。当規程改定案は、前回(第7回)理事会においても提案され、その議論を踏まえ編集委員会において検討が重ねられ、再度理事会に諮られたものである。理事会としてこの改定案を了承した。

### 第3号議案 IGU 京都地域会議への財政支援について

小荒井理事よりIGU 京都地域会議への財政支援額について、資料3に基づき小口渉外委員長から寄せられた事項の確認が求められた。骨子は、2010年度からIGUが開催される2013年度まで当学会で毎年25万円の財政支援を行なうというものである。小口委員長から寄せられた資料では会員数が3000人の地理学会が毎年50万円の支援を行なう予定であり、会員規模の観点から当学会としては25万円が妥当であるという判断である。当資料は12月開催の事務局会で議論された折に出された他学会との金銭的なバランスに対する懸念に答えるものである。他学会とのバランスについて確認がなされたことから、理事会として4年間毎年25万円をIGU 京都地域会議に寄付することを了承した。なお、この決定を次年度から実施するため、次期財務担当理事への引継ぎ事項に含めることを確認した。

この議題に関連して、IGU への当学会としての積極的な関与方針について意見交換を行った。具体には、IGU 大会のセッション担当、サイドイベントの提案、新しいコミッション設置の提案などが考えられる。この IGU への将来的な関与形態について小口渉外委員長にご検討頂くこととした。また当面の京都大会で行なう内容について、小口渉外委員長の他、矢野先生、貞広先生を中心にご検討頂くこととした。現在 IGU の日本代表は岡部先生であることから、岡部先生と相談しつつ進めて頂くこととした。

#### 第 4 号議案 地理オリンピックへの寄付について

国際地理オリンピック実行委員会事務局から柴崎会長宛依頼のあった、「科学オリンピック地理日本選抜大会 2010 兼第 8 回国際地理オリンピック (IGEO2010) 選抜大会ご後援のお願い」が資料 4 として提出され、これについて審議した。依頼の骨子は当該大会に対する後援と毎年の財政支援である。後援については了承した。また例年当学会では 5 万円の寄付を同大会に行なっており、次年度も 5 万円の資金援助を行なうことを了承した。

#### 第 5 号機案 次期理事会の日程について

次回理事会は現体制による最終の理事会であり、次期体制への引継ぎが必要なことから、今回は新旧理事による拡大理事会の形式で実施することとした。次回日程は、3 月末開催を目途に調整することとした。また、それに先立ち 2 月の事務局会において現理事及び委員長に対して引継ぎ資料の作成を依頼することとした。2 月の事務局会の日程は、2 月 25 日午前 10 時に東京大学工学部 1 号館 4 階セミナー室 A での開催を第 1 候補とし、また 2 月 23 日午後 6 時開催を第 2 候補として調整することとした。

#### 第 6 号議案 支部予算の配分方針について

小荒井理事から当日配布資料に基づき、地方支部への予算再配分案が示され、その内容について審議した。本年度の地方支部会計の問題点は、地方支部予算による会員への交通費の支払いである。意見交換の後、本年度の九州支部への対応としては、謝金により交通費分の支払いを認めることとした。しかし、支部予算執行における交通費支払いの可否については再検討が必要との意見が出され、今後会計規則の見直しを行い必要に応じて会計規則改訂を行なうことを会計担当理事の引継ぎ事項に加えることとした。また、地方事務局がイベントを実施した場合、イベントに関する報告を義務付けることも今後検討することとした。

#### 報告事項 1 職務執行状況報告

以下の担当理事から職務執行状況について報告された。

- ( 1 ) 企画・分科会担当 浅見理事
- ( 2 ) 渉外・支部担当 小荒井理事

G 空間エキスポに関しては、具体的な担当者を明示的に決定することとした。シンポジウム関連については碓井理事と今井理事に企画の詳細な詰めを依頼することとした。G 空間事務局に対して場所の申請を早めに行なう必要があることから、開催期間中の休日に 150 人規模の会議室とブースを小荒井理事が予約することとした。またブースにおいて実施する内容のアイデア募集及び検討を広報委員会に依頼することとした。

( 3 ) 大会・学会賞担当 巖理事

( 4 ) 財務担当 太田理事

( 5 ) 広報・編集担当 玉川理事

小特集号の編集経過について、小荒井理事から補足説明があり、現在 9 本の論文投稿が予定されており、内 7 本の論文が提出済みであることが報告された。

( 6 ) GISCA 事項 太田理事

GIS 名誉上級技術者称号の贈呈推薦について、GIS 名誉上級技術者規定に基づく最終確認を経て称号を贈呈する。太田理事より、当理事会での贈呈予定者の承認が求められ、これを承認した。

本日の理事会に予定されていた全ての議案の審議と報告を終了し、15:00 に本理事会を閉じた。

#### 出席理事及び監事

理 事 今井 修

理 事 碓井 照子

理 事 大沢 裕

理 事 太田 守重

理 事 巖 網林

理 事 小荒井 衛

理 事 柴崎 亮介

理 事 吉川 眞

監 事 大佛 俊泰

監 事 長坂 俊成

平成 22 年 1 月 6 日

一般社団法人地理情報システム学会

議 長 柴崎 亮介

理 事 今井 修

理 事 大沢 裕